



## 読者の声

読者の皆様から寄せられた「水とともに 2025冬号」へのご意見・ご感想を紹介します

身近な利水問題への理解が得られた。特に房総導水路の記事によって利水とは地理条件の不利を人工的に補う大規模な仕組みであることが再認識できた。関東平野を流れる利根川の水を約100キロも離れた房総半島南部まで運ぶ事実は普段の生活からは想像しにくく、身近な水が実は遠方の水系に支えられていることを実感した。

今号も充実した内容であり、わかりやすかったと思う。中学生や高校生にも関心を持ってほしい。そのために手に取ってほしい。そう思った。ダム近くの飲食店なども紹介していただけると、さらに身近に感じられると思う。

理事長新年挨拶は2025年に発生した自然災害とその影響が簡潔に整理され、また水資源機構が進めてきた治水対策と今後の方針を概観できる内容で分かりやすかった。頻発する豪雨や渇水に対してどのような方針で備え、また対応しているかがよくまとめられ、水資源政策の全体像を把握できる。水資源機構の中長期的な事業についてもっと詳しい言及があってもよかったと考える。

ダムを見ていると何かにとりつかれたように見てしまう。自然と人工物のすごさが分かり、ダムで多くの生活を守っていることに感動してしまう。

## 広報誌「水とともに」2026年度読者モニター募集

水資源機構では広報誌「水とともに」の誌面づくりのためにご意見をいただくため、2026年度読者モニターを募集します。

**募集の要件** 年4回(夏・秋・冬・春号)発行する、広報誌をご覧いただき、ご感想などのアンケートにご協力いただける方。

●モニター様限定で水資源機構の施設見学会などを企画する予定です。  
※2024年は早明浦ダム(香川県)、2025年は福岡導水・筑後大堰(福岡県)で開催しております。

**モニター期間** 2026年夏号～2027年春号 **応募人数** 40名様程度

**応募方法** 次の事項を記載いただき、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で応募先まで応募ください。

- ①お名前(ふりがな) ②性別 ③郵便番号・ご住所 ④年齢 ⑤ご職業 ⑥お電話番号
  - ⑦アンケートの提出方法(郵送・メールのいずれかを希望する方法を示してください。)
  - ⑧アンケート返信用封筒の要否(郵送を希望される方のみ)
- ご提供いただいた個人情報については、本件に関するもののみ使用するものであり、厳重に取り扱うことはもとより、本人の許可なく開示・提供いたしません。



**応募先** ●郵送・・・〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2 独立行政法人水資源機構 広報課あて  
●FAX・・・048-600-6510 ●Eメール・・・water\_koho@water.go.jp

**応募締切** 2026年5月1日(金) **結果のお知らせ** 2026・夏号(6月発行予定)の発送をもって替えさせていただきます。



春の訪れとともに、各地で新しい動きが始まる季節となりました。本号では、現場で奮闘する職員の声や、地域とともに歩む取組などをご紹介します。水は、私たちの暮らしを支える身近な存在でありながら、その大切さを改めて意識する機会意外と多くありません。本誌を通じて、水と人とのつながりに少しでも思いを巡らせていただければ幸いです。今後とも、皆さまに身近で分かりやすい情報をお届けしてまいります。

編集・発行 独立行政法人 **水資源機構**  
みずしげんきこう  
〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2  
総務部広報課 TEL.048-600-6513(直通) FAX.048-600-6510

安全で良質な水を安定して安くお届けすること、それが水資源機構の仕事です



ホームページ  
<https://www.water.go.jp>



X  
[https://x.com/jwa\\_pr](https://x.com/jwa_pr)



Facebook  
<https://www.facebook.com/jwaPR>



Instagram  
[https://www.instagram.com/jwa\\_pr](https://www.instagram.com/jwa_pr)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ISSN 2187-8048